

自己評価及び外部評価結果

別添2

令和 5年 2月 23日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2274202304	事業の開始年月日	平成18年2月15日	
		指定年月日	平成18年2月15日	
法人名	株式会社スマイル			
事業所名	スマイル住まいる静岡宮竹			
所在地	(〒422-8035) 静岡市駿河区宮竹2-1-50			
サービス種別 定員等	認知症対応型共同生活介護	定員計	18 名	
		ユニット数	2 ユニット	
自己評価作成日	令和5年3月2日	評価結果	市町村受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

スマイル住まいる静岡宮竹の理念として「泣くも笑うも、おこるもあって生きている」を掲げ、「スマイルの誓い」を基にお客様の意思を尊重したケアを実施しています。また、自立支援に取り組み、日常生活の中でやりがいを見つけ、自身のことはご自分でできる環境を作り、楽しみながら運動へも取り組んで頂けるようご案内しています。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	大里東・宮竹地域民生委員 内藤雅文		
所在地	静岡市駿河区宮竹二丁目2-3		
訪問調査日	令和5年2月23日	評価機関 評価決定日	令和5年2月27日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>利用者の各個室は十分な広さと操光も確保され、階段幅も余裕があり、各階の共有スペースも広く明るい環境です。各設備機器等利用者の健康状態やミスの防止等配慮され、スタッフの負担軽減も図られていました。非常時の対応訓練も定期的実施され、利用者にとって安心、安全な施設と判断しました。</p> <p>(両親の介護経験と民生委員研修、活動経験のみで介護の専門知識のない個人の評価です)</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	12 ~ 16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	17 ~ 23
V アウトカム項目	56 ~ 68	

スマイル住まいる静岡宮竹 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	自己評価補足	外部評価	外部評価補足	評価用資料
1	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている	3か月ごとの身体拘束委員会を開催し、身体拘束について委員会メンバーで検討し、他職員に周知する機会を作っている。また玄関施錠は夜間帯のみで、日中は解放している。	A. 充分にできている		身体拘束適正化に関する指針 身体拘束適正化委員会議事録
2	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている	毎年研修を実施し、虐待防止について学んでいる。虐待に近いような実態があれば、職員同士で検討しケアの改善をしている。	A. 充分にできている		・虐待防止、身体拘束研修 ・研修レポート
3	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	B. ほぼできている	運営推進会議書面にて意見、要望がある際はご連絡を頂くよう、発信している。内容については、事業所内で検討し運営に反映していけるものは実施している。	B. ほぼできている	コロナ禍において評価が難しい。	
4	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている	毎年2回、人事考課を実施している。	A. 充分にできている		人事評価制度 処遇改善に関する内容
5	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている	介護分野だけに留まらず、個人情報の取り扱いや、接遇の基礎など他の分野での研修も実施している。また、リモートで外部のセミナー研修も実施している。	A. 充分にできている		社内プチ研修 OJTチェックシート
6	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている	職員の意見をまとめ、訪問看護師や訪問診療の際に助言を頂き、お客様やご家族様にも意見を伺い介護計画に反映している。	A. 充分にできている		モニタリング記録 介護計画書①
7	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている	ケアについて検討会をし、介護計画を見直ししている。	A. 充分にできている		カンファレンス

スマイル住まいる静岡宮竹 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	自己評価補足	外部評価	外部評価補足	評価用資料
8	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている	入院時には、入院先にお客様の情報を提供している。退院時にも病院から情報の提供をして頂いている。	A. 充分にできている		入退院時記録
9	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている	契約時に重度化対応・終末期ケア対応指針・看取りケアに関する確認事項等について説明させて頂いている。必要となった場合には、改めて最終の意思確認をさせて頂いている。※今年度は対象者がおらず実施しておりません。	A. 充分にできている		看取りケアに関する研修
10	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている	年2回の防災訓練を実施している。反省会を行い、次回改善できるよう全職員に周知している。	A. 充分にできている		消防計画・訓練結果
11	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている	スマイルの誓いを意識し、敬う気持ちを持ち、お客様に対応することを心がけている。	A. 充分にできている		個人情報とプライバシー保護 研修
12	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている	テーブル拭きや、配膳等お客様個々に出来る事をお手伝いして頂いている。おやつは何種類か用意し、お客様の好きなものを提供させて頂いている。	A. 充分にできている		
13	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている	毎食後の口腔ケアを実施し、口内を清潔に保っている。ご本人様ができない場合は介助させて頂いている。	A. 充分にできている		口腔衛生に関する助言 口腔衛生計画書
14	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている	記録に基づいて排泄パターンを理解し、声掛けにてトイレに行って頂いているお客様もいれば、介助させて頂くお客様もいる。排便のコントロールは日々の運動量や水分摂取量の管理、サンファイバーを使用し自力で排便ができるよう自立支援に努めている。	A. 充分にできている		

スマイル住まいる静岡宮竹 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	自己評価補足	外部評価	外部評価補足	評価用資料
15	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている	訪問診療、訪問看護、薬局の方と連携を図り情報の共有をしている。薬の変化があった場合には申し送りをし、いつでも薬の情報がみれる様にファイリングしている。	A. 充分にできている		
16	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている	共有の空間は毎日の清掃をし清潔を保っている。季節感を感じて頂くよう壁に季節感の装飾を取り入れている。フロアにはテレビ、ソファを配置し、自由に使っていただけるようにしている。	A. 充分にできている		共用部写真① 共用部写真②
17	本人主体の暮らし	本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている	毎月2回の訪問診療と週1の訪問看護の際にお客様の健康状態を診て頂いている。異変が起きた場合には、訪問看護に連絡し指示を仰ぎ対処している。	A. 充分にできている		
18	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている	契約時に自宅で使用していたものや、持ってきたいものをお聞きし、持参していただいている。	A. 充分にできている		お客様居室写真① お客様居室写真②
19	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている	共有の場所で、お客様がそれぞれお話ができる環境を提供している。また、新規のお客様には他のお客様とお話ができる場を職員が作り話しやすい環境を提供するよう努めている。	A. 充分にできている		
20	総合	本人は、このGHIにいてことで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	B. ほぼできている	コロナ禍で、地域の方々と接する機会が減ってしまっているが、近くの幼稚園児や学生さんがプレゼントを持ってきた際には、お客様も話す機会を設けている。	B. ほぼできている	コロナにより活動が制限されています。	